



日本フォトニクス協議会

入会申込書

年 月 日

「日本フォトニクス協議会」の趣旨に賛同し、
_____月より、下記の通り入会申込みます。

会員種別	年会費	申込口数
法人正会員	1口 48,000円	<input type="checkbox"/>
個人正会員	1口 9,600円	<input type="checkbox"/>
賛助会員	1口 60,000円	<input type="checkbox"/>

※年会費は入会月から当会年度末の3月までの月割計算となります。
※個人でも現在、企業に属している場合は、法人正会員としてご入会ください。
個人正会員の対象は、大学、官公庁、未法人化の個人事業主に限ります。

氏名	
連絡先	※連絡先は(勤務先・自宅)へいずれかに○を付けてください 〒
勤務先名	※連絡先が自宅の場合もご記入ください
部課名	
TEL	
FAX	
E-mail	
ホームページ	http://

※コピーをとってご使用ください。ホームページからお申込みいただけます。

特定非営利活動法人 日本フォトニクス協議会

〒162-0814 東京都新宿区新小川町5-5 サンケンビル1F
TEL 03-5228-3541 FAX 03-5229-7253
E-mail: jpcs@j-photronics.org
http://www.j-photronics.org



特定非営利活動法人

日本フォトニクス協議会 Japan Photonics Council (JPC)

<http://j-photronics.org/>

ご入会のおすすめ



理事長 羽鳥 光俊

東京大学 名誉教授
国立情報学研究所 名誉教授

「20世紀最大の発明」とも言われるレーザーが1960年に登場して以来、50有余年の年月が過ぎました。この間、日本の光産業は飛躍的に発展し、ご承知のとおり日本が有する光技術に関するアイデア、ノウハウ、教育システム、生産技術、デバイス技術およびそれらを有する人材や企業は世界のトップレベルにあります。

日本フォトニクス協議会では今日まで培ってきたこれらの貴重な光関連の人材や企業を結集し、グローバルかつ自由な視点で我が国のこれからの光技術開拓と光ビジネス戦略を考え、その展開をはかる事が最重要課題と考えています。

具体的には、光通信、画像、光計測、太陽電池、光メモリ、光加工、照明、光学といった個々の分野にとらわれることなく、それぞれが独自に育んできた専門性の高い分野と、ITなど他分野の技術を適所に交流・融合させ、さまざまな活動成果を求めてゆく所存です。

我々の ミッション

我々のミッションは、日本フォトニクス協議会の幅広い活動を通じて、光技術の発展と光ビジネスの創出・確立を図ることです。具体的には関連団体、機関、企業と適切に連携しながら、我が国の光に関するこれまでの実績とノウハウをベースに新しいニーズを発掘し、加えてそれを実現するシーズ技術を開発します。そしてこれらの活動成果として、光技術立国日本を再構築し、グローバルな視点で人類の幸せに貢献することです。

また同時に光技術の立場から環境保護と資源エネルギーに關しての提言を行い、地球に優しいグリーン・テクノロジーの普及を推進します。

我々の ビジョン

我々日本フォトニクス協議会は、以下のビジョンを光技術関係者で共有し活動しています。

我々のビジョンは、我々のミッションに賛同し、活動する個人・企業・団体が連携し、新たな価値を創造し、かつ共有できるNPO法人であることを目標としています。

光技術の範囲は幅広く、我が国の研究・技術開発も時代の要請と共に発展してきましたが、従来のやり方では専門分野に限られていましたので横の連携が少なく、社会貢献や影響範囲は限られ、その活動も継続的であるとはいえませんでした。

日本フォトニクス協議会は、幅広い光技術の専門家の知恵と活動を結集し、協力することで、光技術の専門分野に横串を貫き、新しい技術立国日本におけるNPOのモデルを構築いたします。

JPCの歩み

- 2009年10月27日 ----- 特定非営利活動法人 日本フォトニクス協議会設立
- 2012年4月 ----- 産業用LED応用研究会設立
- 2014年4月 ----- JPC関西支部設立
- 2014年11月 ---- JPC紫外線研究会設立
- 2016年8月 ----- 知財戦略専門部会設立
- 2017年5月 ----- 産学連携委員会設立:JPCアカデミック・パートナーシップ・ゼミナール (APS)開始
- 2018年6月 ----- 可視光通信分科会設立
- 2018年6月 ----- 先進フォトニクス技術研究会設立



理事長	羽鳥光俊	東京大学 名誉教授
副理事長	中井貞雄	大阪大学 名誉教授
	黒田和男	東京大学 名誉教授
	谷田貝豊彦	宇都宮大学 特任教授
理事(50音順)	青崎 耕	FT-Net
	天野 浩	名古屋大学 教授
	伊熊敏郎	エコ環境事務所
	伊藤寛治	浜松ホトニクス
	上野直樹	オプトロニクス社
	江上浩二	オフィストリプルB
	小椋行夫	微小光学研究会
	金 正高	三菱電線工業
	近藤宣之	日本レーザー
	寿田龍人	可視光通信分科会 幹事
	武田光夫	宇都宮大学 特任教授
	豊田周平	豊田産業
	波平宜敬	琉球大学 名誉教授
	西澤紘一	プライムネット
	春山真一郎	慶応義塾大学 教授
	平山秀樹	理化学研究所 主任研究員
	藤野仁三	東京理科大学 嘱託教授
	本田 徹	工学院大学 教授
	山里敬也	名古屋大学 教授
	山本和久	大阪大学レーザー科学研究所 教授
	横倉 隆	A Tech Ventures Inc.
監事	植田 覚	植田覚税理士事務所
シニアアドバイザー	三木哲也	電気通信大学 理事
R&Dアドバイザー	梶岡 博	グローバル・ファイバオプティクス
ITアドバイザー	三田典玄	知財戦略専門部会 事務局長

年会費

会員種別	年会費
法人正会員	1口 48,000円
個人正会員	1口 9,600円
賛助会員	1口 60,000円

※年会費は入会月から当会年度末の3月までの月割計算となります。

活動内容

JPCフォーラム 定例研究会

本研究会では、光通信、レーザー、光学、光計測、光メモリ、光バiaoなど幅広い光分野の動向を調査研究し、それらの技術やシステムに対応できる光デバイス開発に向けての技術的課題を明確にしていまいます。同時にビジネス活性化のための提言を行い、かつグローバルな視野に立った判断を行うため、国内外の関連団体と連携し、技術交流、情報交流および各種アライアンスを行なっています。

定例研究会(隔月開催)やセミナー及び情報懇談会の開催、Webサイトでの会員相互の情報発信・情報交換、会員外も含めたネットワークの形成、企業間の技術協力、ビジネス連携などの活動を行ないます。



産業用LED応用研究会 【委員長：天野浩、名古屋大学 教授】

本研究会は、産業用LED技術・応用製品の開発と我が国の関連企業活動の活性化に貢献し、グリーン・テクノロジー、安全など社会的ニーズに沿った企業活動の支援を行なうことを目的としています。国内外の産業用LEDの現状と将来についての議論と調査研究を行ない、今後の技術的課題とビジネス課題を明確にし、企業間あるいは産学間の業務連携を支援・推進し、その成果を情報発信・情報交換を行ないます。

JPC関西(支部) 【支部長：中井貞雄、大阪大学 名誉教授】

経済的、技術的基盤を有する関西地域での光技術の発展、光ビジネスの創出などを推進する支部活動。傘下にアグリバイオフォトニクス産業化研究会(ABPI研)を有します。

紫外線研究会 【委員長：平山秀樹、理化学研究所 主任研究員】

大きな応用可能性を持つ波長域である紫外線の利用推進のため、紫外線領域の産業応用の技術研究、ビジネス機会の創出、拡大を推進する研究活動を行ないます。

有機フォトニクス応用研究会

先進的光技術やグリーン・テクノロジーを実現する光機能的有機材料や部材及びその応用にフォーカスする活動を行ないます。

知財戦略専門部会 【委員長：藤野仁三、前東京理科大学 教授】

戦略的な知財マネジメントの重要性を光産業界に啓蒙しつつ、最新の知財動向を研究、情報発信していきます。また、知財セミナ

一、知財相談、知財斡旋を行ないます。

産学連携委員会、アカデミック・パートナーシップ・ゼミナール(APS)

産学連携研究の斡旋紹介、人事交流の推進および管理。また、産学官連携のシーズ調査、ニーズ開拓を行ないます。光関連分野で幅広い活動展開を行なっている主要大学と連携し、APS(アカデミック・パートナーシップ・ゼミナール)を年に数回開催します。

光無線分科会(旧:可視光通信分科会)

【委員長：山里敬也、名古屋大学 教授】

可視光通信の基盤やプラットフォームを提供し、その結果として可視光通信を社会インフラとして広く普及させることを目指し、可視光通信の普及、啓蒙、企画、標準化活動を行ないます。

先進フォトニクス技術研究会

【委員長：西山信彦、東京工業大学 教授】

今後期待される新しい光技術の研究開発とビジネス化を目指し、産学の若手が主体となり、同じ土俵上で討議しながら真に役立つ光製品の創出を実現し、フォトニクス産業の活性化に寄与することを目的に活動します。

人材育成・活用、人材紹介

学習プログラムの体系化と策定、イーラーニング、人材紹介

セミナー、イベント

定例・特別セミナー、フォーラム、展示会、見学会、シンポジウム

※主催、協賛展示会

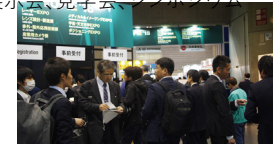
レンズ設計・製造展

赤外・紫外応用技術展

産業用カメラ展

宇宙・天文光学EXPO

光とレーザーの科学技術フェア



国際ビジネス推進

海外動向視察、国際交流、国際ビジネスアライアンス、国際会議

教材・出版企画・広報

教材、出版企画、翻訳、会報、Webサイト、成果報告

有識者データベース、コンサルテーション

専門化登録、データベース作成、派遣、デバイス開発コンサルテーション、マーケットコンサルテーション

技術評価・政策提言、知財

専門家グループによる技術評価、関係官公庁等への政策提言

分野別研究調査

研究テーマ設定、受託研究、マルチクライアント調査

ます。

4. 本協議会及び提携する団体の発行する書籍や刊行物を特別価格にて購入できます。
5. 本協議会のWebサイトを通して、貴社および貴社製品のPR活動が無料で行えます。
6. 本協議会が主催するビジネスマッチング商談会や産学連携イベントに優先的に参加できます。

会員の特典

1. 本協議会が主催又は協賛するセミナー、講演会やシンポジウムや展示会等に無料又は割引にて参加できます。
2. 研究会が委員会として固有のプロジェクトを展開することができます。会員が自ら契約主体となれないプロジェクトに関し、本協議会を活用することも可能です。
3. 本協議会が発行する会報、Webサイトなどにより光技術に関連する情報の提供、並びに相談・コンサルティングを受けることができ